

◇第3次狭山市教育振興基本計画
基本理念「夢をかなえ 人をつくる 狭山の教育」
◇令和5年度狭山市教育行政の取組と重点

学校教育目標
【 自ら学ぶ子 仲よくする子 たくましい子 】
かしこく なかよく たくましく

地域と共にある
学校づくりの推進

- ◇家庭との連携
OPTAとの連携
- ◇関係機関との連携

◇地域との連携

- 学校評議会との連携
- 見守り・交通指導員との連携
- 学習ボランティアとの連携
- 読み聞かせボランティアとの連携
- おやじの会との連携

目指す姿

目指す学校像
やさしい言葉と前向きな気持ちがあふれ 互いに成長できる御狩場小！
～ 自己肯定感が高まる学校 ～

目指す教師像

- 進んで研修に励み、指導力を向上させることができる教師（かしこく）
 - 児童や保護者の意思を理解し、深い信頼関係を築くことができる教師（なかよく）
 - 自分の心身の状態を把握し、ともに健康で、前向きさと信念をもって指導ができる教師（たくましく）
- ～ 教師は子供にとって一番の教育環境である ～

目指す児童像

- かしこく・・・「確かな学力」
進んで学ぼうとする児童
学んだことを活かそう・使おうとする児童
- なかよく・・・「豊かな人間性」
友達を思いやり優しく接することができる児童（いじめをしない・させない児童）
集団での学びや友達の学び・感情を考えて行動することができる児童
美しいことや素晴らしいことに感動することができる児童
- たくましく・・・「健やかな体」
元気に前向きに過ごすことができる児童
困難な場面でも、粘り強く最後まで対応しようと努力し続ける児童

目指す家庭像

- 児童の成果や努力した過程を褒めることができ、夢や目標を応援できる家庭（かしこく）
- 社会的マナーを教え、社会性を培うことができる家庭（なかよく）
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを確立し、健康づくりができる家庭（たくましく）

学校経営方針

- 「 自己肯定感が高まる学校にするために（気づいて・褒めて・見届けて） 」
- 授業・学校行事を含めた教育活動全体を通じて、自己肯定感や自己有用感を高め、生きる力の育成を図っていく。
 - これからの社会を見据え、自分の夢や目標を定め、それに向かって前向きに努力し続ける児童を育てていく。

3つの「あ」の実践

- あいさつ（挨拶のできる学校）
- あんぜん（安心・安全な学校）
- あとかたづけ（きれいな学校）

確かな学力と自立する力の育成

- 主体的・対話的に学ぶ力の育成
- 基礎・基本の確実な定着を目指した授業の充実
- 各種学力調査等の結果を踏まえた学習状況の把握と改善策の立案・実践
- 特別支援教育の充実
- 学校研究『よりよい学級生活をつくらうとする児童の育成（特別活動）』の推進
活気と潤いのある教育環境の整備
- 清掃活動の充実 ○掲示教育の充実 ○安全指導の充実

豊かな心と健やかな体の育成

- やさしい言葉の意識化とやさしい言葉の常態化を推進
- いじめを許さない学校の実現（人権教育の推進）
- 愛校心（『御狩場小でよかった！』）・ふるさと意識の醸成
- 体力の向上と健康増進 ○読書の推進
- 伝わる挨拶の励行

開かれた学校づくりの推進

- スクリレ（「みかりば日記」）やHP等を活用した情報提供
- 学校公開日を活用した保護者・地域との連携
- 幼稚園・保育所（園）、学区の小・中学校との連携

★「狭山市学力向上“茶レンジ・プラン”を踏まえた教育活動
★学校だからこそできる教育の推進